



2003.10.15
第12号

発行
四国ゴルフ連盟
〒790-0921
愛媛県松山市福音寺55-1
電話 089-990-3260
FAX 089-990-3261

高南念願の初優勝

第23回四国クラブ対抗決勝

猛暑の熱戦若手がけん引



念願の優勝を果たして喜ぶ高南クラブチーム

四国ゴルフ連盟の平成十五年度公式競技は、十月十五・十六日の四国ミッド・グラウンドシニア選手権を最後にすべて終了した。今年度は五月の女子アマ、六月の四国アマがともにプレーオフ決勝になるなど各大会とも熱戦が展開され話題の多いシーズンとなった。

第23回四国クラブ対抗決勝（8月20日、グリーンフィールドゴルフクラブ、7001ヤード、パー72、17クラブ136人参加）
冷夏から一転、抜けるような夏空が戻って気温も急上昇。7000ヤードを超すハードなコース設定と猛暑でスコアが伸び悩む中、若手中心にまとまった高南チームが念願の初優勝を果たした。高知

県勢の優勝は4度目。開催クラブのグリーンフィールドも健闘、2位に食い込んだ。
西村祐介・高南クラブ監督の話
県予選でも優勝していたので初Vを狙っていたが、実現できてうれし。勝因は若い選手が力を付けてくれたこと。彼らがチームを引っばってくれた。

- ①高南523 ②グリーンフィールド529 ③鳴門531 ④松山サイド532 ⑤パシフィック534 ⑥Jクラシック537 ⑦徳島フォレスト544 ⑧琴平546 ⑨今治546 ⑩屋島547 ⑪宇和島551 ⑫志度557 ⑬スポーツ振興四万560 ⑭高松ランド563 ⑮高松567 ⑯愛媛587

第2回四国レディースゴルフ大会（9月25日、新居浜カントリー倶楽部、548ヤード、パー72、108人参加）
今年の日本女子ミッドアマ選手権に出場予定のトップアマらのほか四県から多数のローハンディが



初参加初Vの高嶋選手

諦めず頑張つてV 第2回四国レディース華やかに

参加、霧雨の中で熱戦を展開。アンダーハンディ競技の妙味がどう出るか注目されたが、初参加でハンディ24の高嶋照美選手（宇和島）が優勝した。成績次のとおり。

- ①高嶋照美選手（宇和島） ネット64、ハンディ24、グロス88
②金子美（西条）69、17、86
③富田佳子（讃岐）70、5、75
④原田千恵（SGU）70、11、81
⑤掛水直美（琴平）70、6、76
グロスの部①伊井アケ美（北条）72
②ストローク②大路麻里（志度）72
③曾根良子（愛媛）74
年代別ベストグロス賞39歳以下

出足でつまずいたが...

並み居るシングルさんたちを退けて優勝した高嶋照美は今年四十七歳。ゴルフ暦は五年で、24のオフィシャルハンディは八月に決まったばかり。月例以外の大きな競技会に参加したのは初めて。

1番ロングで「9」。「また100たたきかな」と気落ちしたが、仲良しの同伴者らに励まされ上がってみると46、42の好スコア。「最後まで諦めなかつたのがよかった」という高嶋さん。ドライバが大好きで「もっと練習して来年も挑戦します」。



優勝の黒川選手

ベテラン黒川（愛媛）初王座シニア選手権

第23回四国シニア選手権（10月1・2日、綾上ゴルフ倶楽部、6510ヤード、パー72、189人参加）

ベントグリーンの上上がり抜群で初日から高速グリーンに悩まされた。二日目はグリーン上のボールが動くほどの強風で、名物ホルの18番ロングのアイランドグリーンでは池ポチャが続出。この中で初日1アングラーのトップタイで

6510ヤード、パー72、189人参加
ベントグリーンの上上がり抜群で初日から高速グリーンに悩まされた。二日目はグリーン上のボールが動くほどの強風で、名物ホルの18番ロングのアイランドグリーンでは池ポチャが続出。この中で初日1アングラーのトップタイで



左から安永選手、安藤選手

ミッドは初日10位と出遅れた昨年優勝の安永利久選手（松山サイド）が最終日に逆転、三度目の優勝を果たした。
グラウンドは安藤護選手（高松ランド）が4オーバーの好スコア

で初V。両競技とも上位3人が第10回日本ミッド・グラウンドシニア選手権（11月18・19日、埼玉県飯能GC）への出場権を獲得した。成績次のとおり。
ミッドの部①安永利久（松山サイド）152
②香川弘毅（琴平）154
③片岡守（愛媛ハイランド）155
④石川敬（滝の宮）157
小川清久（グリーンフィールド）157
グラウンドの部①安藤護（高松ランド）148
②月原正（今治）151
③宮成茂（四国）中河原安彦（フォレスト）154
④塚田秀男（ロイヤル高松）156

大宮、5アンダーV 四国ジュニア高校男子

第23回四国ジュニア選手権（7月24・25日、北条カントリー倶楽部、男子114人参加、女子22人、小学生オープン15人）

男子高校の部で大宮正幸選手が通算5アンダーの好成績。最終成績次のとおり。
▽男子15〜17歳の部 ①大宮正幸（香川西高3年）139
②和田健太郎（明徳高2年）③山崎太一（香川西）146
④森沢成光（明徳高1年）148
⑤萩野俊多（同3年）149
▽女子15〜17歳の部 ①中村美沙子（明徳高3年）154
②池内真梨藻（同）二宮歌奈子（同）155

予想以上の参加者 4県の小中学生大会

四国各県のゴルフ協会・連盟が今年度からの新事業として開催した「小中学生ゴルフ大会」は、八月末の香川大会で終了した。参加した児童生徒は四県合わせて九十人で、予想以上の結果だった。

また、並行して夏休み中に各県が実施したジュニアスクールにも合計百三十余人が参加、ゴルフの楽しさを体感してもらった。各県協会・連盟では、来年度も大会開催を継続、参加者の増加を図る。

一方、四連は各県の成果を踏まえ現在の四国ジュニア小学生オープンを選手権競技に改め、二年後を目標にこの部門を独立させて「四国小中学生ゴルフ大会」の開催を目指す方針。

前田陽子（阿南）が優勝 静岡国体ゴルフ成年女子

第58回静岡国体夏季大会のゴルフ競技（9月14・15日）成年女子個人で、香川県チームの前田陽子選手（託問）が通算5アンダーで優勝した。四国選手の国体個人優勝は二人目。高知県チームの三木逸子選手（土佐）は4位。

また成年男子個人でも愛媛県チームの二宮英二選手（今治）が通算4アンダーで3位タイに。四国各県の国体競技成績次のとおり。
▽成年男子①愛媛5位▽高知10位▽徳島15位▽香川23位タイ
▽少年男子①香川3位タイ▽高知5位タイ▽愛媛43位▽徳島44位
▽成年女子①高知9位▽香川12位
▽成年女子②高知5位

おらが倶楽部でござる

其の十三 松山国際ゴルフ倶楽部

松山市内から南東へ十五キロ。東方に皿を伏せたような山谷の県立自然公園皿ヶ嶺1270メートルを望む、ここ重信町上村に当ゴルフ倶楽部が誕生したのは昭和四十五年七月のことでした。

松山地方のゴルフ人口は、まだ七、八千人といわれたころ。先発ゴルフ場のほとんどが9ホールからのスタートだった中で、当倶楽部は一気に18ホールで開場、やがて本格的なゴルフの大衆化時代を迎えることになりました。

うねるコースに泣く

小高い松林の山並みにレイアウトされた当初のコースは、各ホ

ルごとに趣があり、所々に施された戦略的なアンジュレーションがゴルフアートを苦しめたり、挑戦意欲をかき立てたりしました。

らな場所はティグランドだけ。二打、三打目に泣かされた。「アンジュレーションこそゴルフの命。もしコースが水面のよう

アベレージゴルファーにとって過度の起伏は酷。プレーを楽しむどころではなかったでしょう。昭和五十八年、コースの大改造に着手しました。アウトコースはせり出していた斜面を削りフェアウェイを広げ、インはアップダウンの解消に努めました。苦しい思いの残るコースから楽しくプレーできるゴルフ場への変身でした。それでもなお難しいという声があ

て残り3ホールで一挙に崩れ涙をのんだシーンが思い出されます。

松山国際ゴルフ倶楽部
〒791-0221
愛媛県温泉郡重信町上村
TEL 089-964-2350

攻略楽しい タフコース

腕だめしに ぜひ挑戦を

当時を知る現競技委員の藤本重利さん七十一歳は、「打ち上げ打ち下ろしの連続。傾斜はきつく、コースがうねっていて非常に難しく、古いメンバーの一人は「平

に平坦だったら私はどうにクラブを投げ出していたら」と、言ったのは全米・前英オープン王者ウォルター・ヘーゲンでしたが、

今も多いのです。特にインの上がり3ホールは、倶楽部競技でも幾多のドラマを重ねてきました。快調にアウトをこなし、インに入っ

コースがゴルフアートを育てると言われます。当倶楽部も今年で三十三歳。長い歴史の中で平成三年の四国クラブ対抗競技で優勝したこともありました。その原動力となったのが故客野恵輔選手でした。日本アマ選手権に十九年連続で出場、常に上位入賞して「松山国際」の知名度を上げてくれました。

松山市内から車で三十分、高速道川内ICから十分と、当コースへの交通の便は上々。「もともと手になりたい」と秘かに向上心に燃えるゴルフ愛好家のみなさん、ぜひとも攻めがいのあるタフな松山国際に挑戦してみてください。(江原誠・松山国際ゴルフ倶楽部支配人)

お四国随想

手島皓一

先日、猛暑の中を13番大日寺、20番鶴林寺を廻った。十時頃大日寺に着き、そこで若者に会った。今朝三時に焼山寺から歩き続けて大日寺まで三十余キロを七時間で来ている。彼はしっかりと計画を立て、また歩くことも馴れていた。

で行き、そこでお接待の気持ちで民宿に頼んで帰った。この日たたくさんの遍路に話を聞いてみた。ある程度の年齢以上の人たちは綿密な計画で決して無理

いるが、先の二人は余りにも無計画で、男子の方は満足な地図も持たず道路標識だけで歩いていて11番から12番までは今では誰も通らない旧道の山道を往復していた。

も休んでいる所が多い。その点、歳をとった人たちは、綿密に調査をし無理なく経済的に安全に歩けるように考えている。たたくさんの若者が夏休み中に遍路をしようと考えて来ているのはいいが、もつと計画的な遍路をしないと途中で中止しなければならなくなるし、また不測の事故で救急車の世話になることが起こる。現にそんな例がときどきあると聞いて、夏の猛暑の中や冬の寒さの中の歩き遍路の難しさを思った。

ゴルフも同じで、自分の力とコースの表情を考え計画を立てて攻めることが大事で、そうでないとひどい障害に出会いスコアを乱すだけでなく、手首を痛めたり足首を捻挫したり日射病になることもある。

ゴルフでは両耳の間ですと言葉があるが、考えながらのゴルフでないとい進歩も遅い。賢者は考えてから打つ、愚者は打った後で考える。これもゴルフと遍路に当てはまる名言である。(四国ゴルフ連盟常務理事)



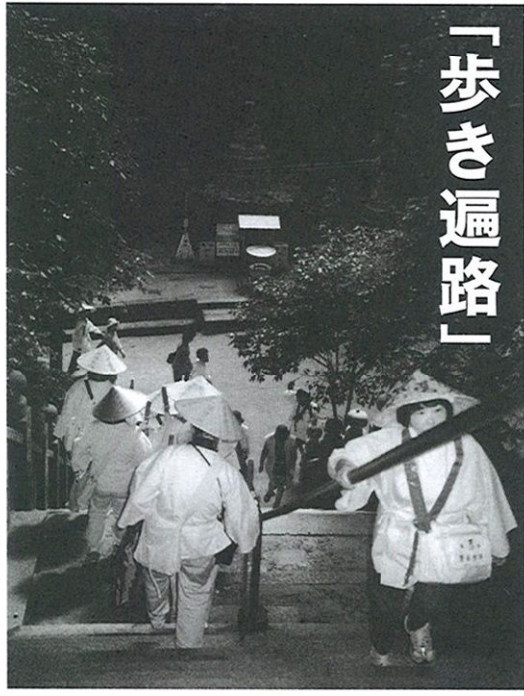
眼下に重信町の町並みが広がる15番グリーン

先日、猛暑の中を13番大日寺、20番鶴林寺を廻った。十時頃大日寺に着き、そこで若者に会った。今朝三時に焼山寺から歩き続けて大日寺まで三十余キロを七時間で来ている。彼はしっかりと計画を立て、また歩くことも馴れていた。私は次々に寺を廻り、午後二時に19番立江寺に着くと、そこで一人の若者が疲労困憊して私の横に腰をおろした。余りの様子に聞くと、計画を立てずに歩いているのを知って驚いた。

彼を車に乗せ20番鶴林寺に登ると、東京の女子大生が写真器材を担いで来ていた。彼女は写真科で夏休みの宿題写真のために廻っていた。驚いたことに、何で調べたのか鶴林寺の山道を一時間で登れると思いきや、実際には三時間余りを要し疲労困憊して起き上がれないでいた。二人を乗せて次の21番大龍寺ま

よくも無事に辿り着いたものだ。また、彼女は何の本で調べた時間基準にしたのか、これでは下山の時間がない。夏の宿坊も民宿

「歩き遍路」



編集を終えて

「藍ちゃん」こと、女子アマ第一人者の宮里藍選手がブロー入りしました。まだ高校3年の18歳、今年の日本女子アマ、日本ジュニアを制覇、9月の女子プロツアーでは初優勝。史上最年少の大物プロゴルファー誕生は、低迷続くゴルフ界にとって久々の嬉しいニュースです▲スポーツ関連の明るい

話題は、暗い世相の中での一服の清涼剤です。米大リーグの松井やイチローの活躍は人々に感動、元氣、勇気を与えてくれます。阪神タイガース優勝には数千億円の経済効果であるそうです▲藍ちゃんのデビュー戦は、11月の伊藤園レディース。重圧の中でどんなすばらしいプレーを見せてくれるのか、静かに見守りたいと思います。(T)



あやかみ定食

(綾上G.C.)

冷・温ご希望下さい

今年五月から始めた新しいメニュー。エビ、地元産の季節野菜の天ぷら盛り合わせに、ざるそば。さらにミニうなぎ丼というボリューム満点の定食。

写真ではざるそばになっているが、うなぎでもOK。しかも、季節やその日の天気、お客さんの気分に応じて冷たい、温かいを自由に選べるのがうれしい。今では海外にまでうなぎが進出する時代。やはり讃岐うどんの注文が多く、「特に県外からのお客様は、コシがあつて美味と喜ばれます」とレストランの上野次郎チーフ。一人前千三百円。



どじょう汁定食

(新居浜C.C.)

温かい汁ものは一般に冬が相場だが、どじょう汁だけは夏場のもの。この季節が産卵期で栄養価が高いため、昔から夏のスタミナ料理として好まれてきた。

生きたままを、ま油で炒め、すり鉢で骨ごとミンチに。酒と味りんのだし汁で伸ばし味噌味をつけ中に小イモ、ナス、豆腐を食べやすい大きさに切って入れ煮たてる。アクをよく取った後、ゴボウのさがき、最後にそうめんとなぎを加える。レストランの西岡健一店長は「夏バテ防止に最高。大変好評です」。十月いっぱいはいは味わる。タコの酢物、小鉢、フルーツが付いて一人前千五百円。